

要安全確認計画記載建築物の耐震診断結果

【ホテル、旅館】

番号	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	倉吉シティホテル	倉吉市 山根543-7	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2009年版)及び「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2017年版)に定める「第2次診断法」	$I_s=0.31$ $CT \cdot SD=0.32$			改修済

【高等学校】

番号	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	倉吉北高等学校 第一体育館	倉吉市 福庭町1丁目180	高等学校 (体育館)	屋内運動場等の耐震性能診断基準 (平成18年版)	$I_s=0.80$ $q=1.45$			改修済

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に関する安全性の評価

耐震診断の方法の名称		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I	II	III
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版、2017年版)		$Is/Is_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$Is/Is_0 < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq Is/Is_0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
屋内運動場等の耐震性能診断基準(平成18年版)		$Is < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq Is$ かつ $1.0 \leq q$

I.地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II.地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III.地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

※評価は震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示しています。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされています。

※特記事項がない限り、 $Z=0.9$ 、 $G=1.0$ 、 $U=1.0$ 、 $R_t=1.0$